

2026年5月28日

各位

会社名 株式会社ニーズウェル
代表者名 代表取締役社長 松岡 元
(コード番号:3992 東証プライム市場)

AI駆動型開発の確立に向けた研究開発を開始

～ 開発ライフサイクル全体の高度化と生産性・品質の構造的向上を実現 ～

株式会社ニーズウェル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 松岡 元)は、近年急速に進展する生成AI技術を活用し、システム開発の全工程において生成AIを実行エンジンとして活用する「AI駆動型開発」の手法を検証・確立する研究開発を本格的に開始したことをお知らせいたします。

1. 背景

ソフトウェア開発は、DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展に伴い、その重要性が一層高まる一方で、人材不足や開発期間の短縮、品質確保といった課題が顕在化しています。こうした課題に対し、AIを活用した開発支援技術は、生産性向上の鍵として注目を集めています。

当社ではこれまでも開発プロセスの高度化に取り組んできましたが、生成AIの進化により、設計・実装・テスト・運用に至るまで、開発全体をAIが支援・自動化する新たな段階に入ったと捉え、本研究開発に着手しました。

2. 研究開発の概要と期待される効果

本研究開発では、開発ライフサイクル全体を対象に、AI活用の検証および実用化を推進します。

開発プロセスを通じて蓄積されるナレッジを当社固有の技術資産として体系化し、継続的な生産性向上と高付加価値化を実現します。これにより、中長期的な成長基盤の強化につなげます。

(1) 開発生産性の大幅な向上

要件整理、設計補助、コード生成、テスト自動化へのAI適用により、開発工数の削減とリードタイム短縮を実現します。初期設計および実装工程における自動化・半自動化が進展し、組織全体の生産性向上に寄与します。

(2) ソフトウェア品質の向上

バグの未然防止、コード品質の均質化、ヒューマンエラーの削減を同時に実現し、開発ライフサイクルの品質向上を図ります。テストケース生成の高度化により、テスト精度と網羅性を高め、システムの信頼性と可用性を向上します。

(3) エンジニアの高付加価値業務へのシフト

エンジニアはアーキテクチャ設計やUXデザイン設計などの高付加価値領域に注力が可能となり、開発アウトプット全体の価値向上を実現します。

(4) 開発プロセスの標準化

AIを活用した開発プロセスの整備により、属人性を抑制します。設計・実装のばらつきを抑え、大規模開発における安定性を確保します。

(5) ビジネススピードの向上と競争優位性の確立

開発サイクルの短縮により市場投入までのリードタイムを圧縮し、顧客ニーズへの対応力を強化します。事業機会の迅速な取り込みと競争優位性の確立につなげます。

(6) 組織横断での開発力強化

自然言語による要件定義やプロトタイピングを通じて、ノンエンジニア人材の参画を促進します。部門間の連携を強化し、内製化の推進および組織全体のデジタル対応力向上を実現します。

(7) 技術資産の蓄積と高度化

開発を通じて蓄積・集約したナレッジを技術資産として体系化し、継続的な生産性向上を実現します。

3. 今後の展開

本研究開発の成果については、社内システムの開発や自社サービスおよび顧客向けソリューションへの展開を進めます。あわせて、産学連携やパートナー企業との協業を通じ、AI駆動型開発の社会実装を推進します。

また、持続的かつ信頼性の高いAI活用の実現に向け、セキュリティ、ガバナンスなど、AI倫理の対応を前提とした開発体制の整備を進めてまいります。

4. 会社概要

社名	株式会社ニーズウェル	https://www.needswell.com/
本社所在地:	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 13 階	
代表者:	代表取締役社長 松岡 元	設立: 1986年10月
社員数(連結):	597名 (2025年9月末日)	資本金: 9億8百万円(2025年9月末日)
事業内容:	ソフトウェアの開発・運用・保守、ソリューション製品の開発・販売・運用・保守	
お問い合わせ:	ニュースリリースについて	経営企画部
	TEL:050-5357-8346(直)	E-mail: ir-contact@needswell.com
報道関係資料:	IR ニュース	https://www.needswell.com/ir/news
	その他のお知らせ	https://www.needswell.com/news/index

以上